

2022 年度事業計画

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

1. 2022 年度事業計画

(1) 会員活動

(★:2022 年度新設またはリニューアル)

2022 年度も引き続き、フォーラム・研究会・研究プロジェクト等の充実、活性化を目指し、オンライン開催も取り入れ、活動を実施する。

a. 会員交流

(a) フォーラム

下記のフォーラムを開催し、より活発な活動を進める。

- ・CIO エグゼクティブフォーラム(東京 1 グループ)
- ・IT 企業トップフォーラム(東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT 部門経営フォーラム(東京 5 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT グループ会社経営フォーラム(東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT グループ会社人材育成フォーラム(1 グループ)
- ・グローバルフォーラム(シンガポール 1 グループ)

(b) 研究会

2022 年度は、下記 14 テーマについて研究会を実施予定である。

- ・ビジネスデータ研究会
- ・IT インフラ研究会
- ・サービスマネジメント研究会
- ・企業リスクマネジメント研究会
- ・ビジネスプロセス研究会
- ・IT 投資ポートフォリオ研究会
- ・組織力強化研究会
- ・システム開発・保守 QCD 研究会
- ・AI 研究会
- ・デジタル変革リーダー自己育成研究会
- ・組織内起業家研究会
- ・トランスフォーメーション研究会★
- ・人材育成事例(HRCS)研究会
- ・製造業 DX 推進アプローチ研究会★

(c) アドバンスト研究会

個別グループでの設立申請を受け、政策企画委員会の審査・承認を経て活動を実施する。

(d) 研究プロジェクト

下記の研究プロジェクトを実施する。

- ・未来ビジネスフォーラム
- ・基幹系システムアジャイル適用研究プロジェクト★

(e) JUAS アカデミー

IT に関する最新技術、関連施策に加え、業界や市場の動き、海外動向、経営に適用し得る考え方等の時宜に即したテーマを選び、単発の会員限定の研究会として開催していく。

2022 年度も前年に引き続き、オンラインを中心に様々なテーマで積極的に実施していく。

(f) 関西

前述の IT 企業トップフォーラム関西、IT 部門経営フォーラム関西、IT グループ会社経営フォーラム関西のほか、従来からの PARK(The place of advanced relationship in Kansai)をリニューアルし、ミドルマネジメントの情報交換、交流に留まらず、ミドルマネジメントの視点から共通する課題についてより踏み込んで議論し、その成果を発信することを目的に、「PARK 2.0」として活動する。

(g) 情報セキュリティ WG

情報セキュリティのマネジメントの視点から、課題とその解決方法の共有と横展開を目指して、情報セキュリティ WG として活動する。15 名程度の WG を 2 グループ程度、開催予定である(1・2 か月に 1 回程度の活動を予定)。

b. 「認定個人情報保護団体」としての活動

2022年度も前年度に引き続き、C 会員を中心に登録を受け付け、苦情相談等を実施する。

c. セキュリティセンター (プライバシーマーク審査事業)

2022 年度のプライバシーマーク取得を希望する【申請件数】は 2,163 件程度と見込んでいる。一方、【審査件数】は、2021 年度同様、リソースを最大限活用し、【申請件数】と同数の 2,163 件程度を実施する計画としている。

審査件数の増加と、現審査員の高齢化に備え、新規審査員募集の継続、審査員育成の仕組みの強化、グループリーダー制の充足に取り組んでいく。

また、審査業務基盤整備を目指した「プライバシーマーク審査業務刷新に向けた業務改革・IT 化構想」に着手、以降 3 か年、3ステップでプロジェクトを推進する。

第 1 ステップ:申請事業者(会員企業)と JUAS 間の情報授受の電子化(2022 年度中の稼働を目指す)

第 2 ステップ:JUAS セキュリティセンター内審査管理業務の刷新(2023 年度中の稼働を目指す)

第 3 ステップ:付与機関(JIPDEC)と JUAS の電子化連携(2024 年度以降)

会員向けサービスとして、紙で発行していた会報を電子化するとともに、カンファレンスについても、コロナの情勢を踏まえて、オンラインまたはリアルでの開催を見極めて秋に開催予定である。プライバシーマークに係る PMS の構築相談等の各種会員サービスも継続して実施していく。

(2) 教育研修事業

会員をはじめとした企業の人材育成、さらには組織力強化について、より一層の支援を行っていく。

これまでのオープンセミナーの定期講座、コース型研修や新人・配転者向けプログラム、オーダーメイド研修、ラボを引き続き実施していくほか、受講形式もオンライン受講、オンライン受講または会場受講を選択できるハイブリッド形式を取り入れていく。また、各社の人材育成に寄与するような新規テーマでの研修講座を企画、開催し、さらに受講生の拡大を図りたい。

(3) 普及推進事業

a. JUAS スクエア 2022 オンライン

2022年9月7日(水)、8日(木)にオンラインにて、ユーザー目線での情報発信・情報収集ができるユーザーカンファレンス「JUAS スクエア 2022 オンライン」を開催する。

b. イノベーション経営カレッジ

2022年度も引き続きイノベーション経営カレッジの活動をプログラム(人材育成)、コミュニティ(同窓会)、ラボ(研究)の3つのカテゴリで実施する。

これまで19回実施してきたミドルマネジメント層向けのプログラムは、10月・11月の開催を予定している。また、2018年度より新たに実施した事業創造のための協創の場「Challenge Camp」についても前年度の活動をふまえて、10月～2023年3月に開催する。

(4) 調査研究

2021年度までの調査研究事業をベースに新規事業を含めて積極的に実施していく。

(5) 企業 IT 動向調査

企業のIT投資、IT導入状況、IT活用の実態、組織・体制等、動向全般について、幅広く俯瞰的な調査を実施する。また、ユーザー企業における重要課題を「重点テーマ」と位置づけ、解決に向けた指針を提言することを目的とする。実施に際しては、調査委員会・調査部会を組織し、テーマ選定、調査内容企画、分析、報告書執筆を行う。調査の方法は、引き続きアンケートとインタビューを併用する予定である。

また、本年度も情報発信の取組も積極的に行っていく。

※2012年度より公益目的支出計画の実施事業として、継続的に実施している。

以上